〔第三種郵便物認可〕 昭和十二年七月十六日 磐城新聞 〔金曜日〕 第四千九百七十六號 〔一〕

夕刊
磐城新聞
七月十五日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢(郵税拾五錢)
廣告料 普通欄一行金六拾錢 記事欄一行金九拾錢(五號十二字詰 場所指定一行 增)
編輯印刷兼發行人 柏木哲 福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
登錄電略(イワキ) 平局私書函第十二號 電話五六四番
(日曜祭日翌日休刊)
東京振替一〇八五五六番

天氣豫報
小名濱測候所發表
今晩も明日も南の風驟雨模樣

雨
社内 〇△生

雨は大空から自然の作用に依つて水滴の落下する現象で、この字の由來は、一は天に象り冂は雲に象り殘りの四劃即ち縱の棒と之を挾む四つの點は水を象つて組立てたものであると信ぜられてゐる。雨は性質に依つて小雨、大雨、强雨、豪雨、細雨、霖雨、暴雨など稱呼を異にし、また時期によつて春雨、五月雨、梅雨卯の花下し、夕立、時雨等の名稱を附する。雨粒は理論上では空氣の抵抗により下部が圓く上部が尖つたものらしいが確實な觀測が無い。普通は直徑二粍位で小さいのは〇・三粍、大きいのは六粍位である

×

落ちる速度は毎秒二米から一〇米位の間で大粒のもの程速い。雨水には凝結の心核となる細塵(妙土、煤煙等)を混じアンモニヤ、硝酸、鹽酸を含んでゐる。溫度は氣溫より低いのが普通だが高いのもあり上下兩氣層の溫度の差によつて區々になる。雨滴は電氣を帶びて居るが陰陽何れとも定まつて居ない――も少し詳細な説明を要するが『百科事典』の請け賣りは以上に止めやう

×

日本の文學には古來雨に關する逸品が少くない。萬葉集の『吾妹子之、赤裳裾之、將染埿、今日之霡霂爾我共所沾名』古今集の『さみだれに物思ひ居れば時鳥夜ふかく鳴きていづち行くらん』堀川院御時百首和歌の『いとゞしく賤が庵のいぶせきに卯の花くだし五月雨ぞふる』などの如く多くはやせるせない心情を雨にかこつけたものが多い。俳句には芭蕉の有名な『五月雨をあつめて早し最上川』の如き雄壯なのや、蕪村の『瀧口に燈を呼ぶ聲や春の雨』など實景目に見る樣なもの野坡の『小夜時雨降りの日は挽きやみぬ』など眞情身に迫るものがある

所謂車軸を流す樣だつた夜來の雨は一體何ミリ降つた事か。あとで測候所に電話する事にしやう

(今早曉記)

歸らぬ女
小名濱 平野康太郎

逢へぬこの世のえにしなら
星もキラメケ 月も泣け
來る夜來る夜の 切なさに
歸へらぬ人に すすり泣く
絶えにし便りは うらまねど
切れし哀しや 戀の糸
むせぶ涙に 見る人は
永久に歸へらぬ 夢の女
月は柳の 葉にやどり
星は希望に 輝やけど
君ははるかな 空に住む
切れて哀しき 夢の女

勞働

刈つた麥穗に 夕陽が赤い
明日も天氣さ また麥刈りさ
日暮夕暮 畑の中に
ひとり働き 戀もない

呈比佐代議士
珠雲 小野務平

積德興風廣且深
多年獻替見奏心
廟廊推挽拜拜命
榮發隆々人競欽

7月16日

△薮入△日本武尊蝦夷平定の勅命を受け給ふ(景行天皇四)△日蓮上人『立正安國論』を幕府に呈す(文應元)△島津齊彬薨ず(安政五)

新刊紹介

△法律新聞七月十日號 辯護士福島一郎氏の論說時節味讀すべき『市町村會議員の選擧肅正に就て』『喜劇天驅ける戀の果』等固苦しき裡にも硬軟の配合よろしき編輯振り(一部金稅共十錢五厘東京市日本橋區四丁目五ノ五共社)

ラヂオの佛法僧
辰巳和子

三

翌日は風も無く靜かでしたが、矢張り月は無く曖かな晩で、耳を澄ますと前夜よりもはつきりと聲は流れまたつく〴〵聞いて居ると前年の時より其聲は何となくもの寂しい感じがしてならないのです。前年の時には時々枝移りしつゝ其處に聲も冴えて行つた樣子でしたが、今年の聲は枝移りする樣子もなくじつと一つ梢に啼き續けて居たやうです。私は色々考へた末、これは月が無い爲ではないかしらとふと思つたのです。それは、いつか讀んだ牧水の佛法僧の文章の中にも谷を埋めた杉の一本々々の梢が見分けられる樣な月夜に其聲が朗らかに冴ね響いたとあつた事や、また去年月の美しい夜に放送を聞いた印象などから思ひ合はせて、私の想像は月と佛法僧とを結び付ける迄に至つたのでありました

考へが此所迄來ると、私の頭には若葉の梢こめた山峽の初夏のこんもりと暗い夜景が浮び、其處の暗い谷の梢に枝移りもせず。夜もすがら啼き續ける靈鳥の姿が見ゐるやうに思へるのでした

(もりあをがへる)(むさゝび)の聲も無氣味な程はつきりと入り、鳳來寺山地嶽谷の夜は更けるらしく、峽にこだまして冴ゆる三寶の聲は實に掌を合せ度い程敬虔な氣持になるのでした其の夜私は、最後の一聲までもと耳を傾けて居たのでしたから

(終)

講談
妖刀流轉
(140) 邑井貞吉演 佐々木今朝吉畫

流轉又流轉(五)

此方は蝮の三九郎、六部に化けて急場を逃れ、夜道を急いで落合の宿まで逃げた

此處まで來ればモウ大丈夫と思つたのは、此宿に自分の兄弟分で中津川の牛藏といふ博徒、これはなか〳〵いゝ顔になつてゐますその牛藏が居るからで、其家に辿りつくと、人目をさけて裏口から

三『兄貴は居るかね』

○『オゝ、これは誰方と思ひましたら蝮の親分で』

三『アゝこれ大きな聲をしちやア可けねえ、仔細あつて斯ういふ扮裝をしてゐるんだ、兄貴が居たらそつと取次いで呉んな』

○『へエ畏まりました、少々お待なすつて』

子分が奧へ行つて斯樣々々と告げたから、出て來た牛藏が

牛『オゝ三九郎か、た前何してた、兎も角く早く此方へ上んな、これ洗足を取つてやれ』

○『へエ』

これから三九郎が奧へ通つて

三『實は兄貴賭場の間違ひでの、到頭對手の奴を叩き斬つて了まつた、それでなくとも貸元兇狀で、そろ〳〵年貢を納めなくちやアならねえ所を、その上へ人殺し兇狀が重なつたんぢやア最う逃れられねゑ、擬なく土地を賣つての當分長い草鞋を穿くつもりよ、昨夜は捕手に追はれて山へ逃げ込んだところ、伯母の家へ六部の泊り客が有つての、グッスリ寢込んで居やアがる、早速に思ひついて圍爐裏へ乾してあつた着物を取上げ、笈まで背負つて姿を變へ、ようやく此處まで逃げて來られたのだが、お前も俺の變つた姿にやア驚いたらう、そういふ譯で落ついても居られねえが、何しろ一つ心配をして貰ひ度ね?』

牛『そうかそりやア飛んだ事になつたの、然し六部とは思ひつきだせ、笈の中は何が入つてゐるんだ』

三『何が入つてゐるか、まだ開けても見やアしねえ、何うせ廻國の六部だもの、ろくなものは有るめえが、實は今まで檢める暇もなかつたのだ、何だか知らねえがゴロ〳〵してゐるせ』

云ひながら彼の笈を引よせ、觀音開きになつてゐるのを開けて見ると、經文が一冊、半紙に足袋など、雜品の中に例の妖刀が、手拭へ包んだ儘入れてあつた。

三『オヤ〳〵兄貴見ねえ、』

外へ取出したのを牛藏が手に取上げ

牛『何だ、これは刀ぢやアねねか、鞘も無しで手拭へ包んだ儘、六部だといふのに物騷なものを持つて歩くぢやアねか、これはお前が入れたのか』

三『冗談ぢやアねえ、乃公は今もいふ通り、笈の中を見たのは今が初めてだ、自分は斯うやつて脇差を薬づとに包み、片手へ下げて步いてゐる始末よ、そんなものを入れた覺えは無ね』

牛『それでは最初から入つて居たんだな、じて見るとこの笈の主も、餘りろくな代物ぢやア無さそうだ、何にしても鞘が無くては危ねねのう』

云ひながら、手拭をくる〳〵と解き、暫らく牛藏が見てゐましたが、

牛『三九郎』

三『何だ兄貴』

牛『これはお前大した品物だせ』

三『そうか』

牛『武士ぢやア無えから刀劍の事は、充分には判らねえが、乃公ア知つての通り刀が好きで、可なり目も利いてゐる積りだ、どうして此刀は尋常のものぢやア無え』

肺病ロクマク

其徴候としては原因なくして肩がこるとか胸が痛むとか、寢汗が出るとか、輕くて繼續する『セキ』をするとか、顏色が段々蒼白くなるとか、體重が月々著しく減ずるとか、朝より午後になると輕度の熱が數日以上續く場合

感冒又ハ流行性感冒の後久しく疲勞不快の感覺を脱せざる場合には『ゼヒ』一二週間位服用して下さい、必ず御滿足を得る事と信じます、今迄に全快せられし御方は數多く御座います。

此藥は他の藥店にありません。

價 一週間…三圓 二週間…五圓五十錢

ハイロクノール代理店 常磐線植田町 安田屋藥局 電話番一〇三

病室增築、手術室完備
産科 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
往診隨時 平市新川町『電話三六九番』

銘木(床ノ間材)
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
織田材木商店へ
福島縣平市 電話平四六〇番
營業種目 建築木材一式 銘木・ベニヤ板 秋田產杉四分板 建具材・便利瓦
一變せる勉强振りを、ぜひ一度お試を乞ふ

◎社員招聘◎
一、社員 拾名
拾九歲以上六拾歲位迄にして身元保證人ある方詳細は履歷書持參面談の上月收は約五拾圓内外
一、事務見習 參名
十七歲より二十三歲位迄身体健康仕込みの者給料手當は面會の上決定す
右は經驗の有無に不拘直ちに採用す。
平市田町(世界館側大通り)
シンガー裁縫機械會社

涼しい鮫川の!
遊覽船、貸ボート
サービス女中さん 至急數名入用
△十八歲以上、廿、五六まで
△七月二十日迄
△日中勤務、月八圓以上、外に手當あり
希望者ははがき又は來談あれ
地曳網 遊覽船 ボート
植田町鮫川橋畔 鮫川誇揚會 電話四番(呼)

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体溫器 寒暖計
關內藥局 電話四〇番

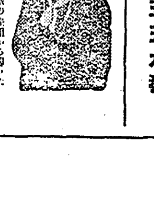
旅舍 大幸館
東京下谷郵便局横通角 上野驛前
電話下谷(83)六七七番
私は平市出身ですから特に郷里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄

精神病科 脳脊髓病科 神經病科
内務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生 電話九二五番
入院隨時 院長 醫學士 金森五郎

時代の要求 皆樣の足!!
尼子タクシーへも
豆タクが入りました。
御玄關から玄關へ…迅速簡便
是非御利用を……。
市內…三〇錢 市外…四割引
流線型セダン、大型貸切バス
宮行ー直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。
平市二丁目 尼子自動車商會 電話六四〇番

産科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井坂醫院
平市田町(元合津醫院跡) 電話五五九番

漢方 生公華
効力本位


平市專賣店 平市五丁目(電呼六六八) 山野邊藥局

眼鏡
豐富に取揃へて御座います
(亂視用眼鏡即時調製)
根本時計店
平市二丁目 電話六〇七

野望萬華鏡

正副議長は一体誰？

多大の興味を以て迎へられて居る 市會各派の合同企業

多きは現有勢力七名の新興會（民政野崎派）各六名の市政會（政友派）革新會（政友新）から少きは複數を必要とする『一黨一派』の名を冠し得ぬ無産派の一名迄、大小六個のセクションに彩られてゐる平市會の各會派が、夫々獨自の立場を固守して進むか、それとも甲。乙若は丙か單一体となつて何等かの合同企業に出る場合があるかどうかは、平市會當面の最も興味ある問題であるが夙くも其の實演が行はれ出した――に至つては餘りにも急激に來た所謂非常展開振りに一驚を喫せざるを得ない。即ち平市會將來の動向を示唆する議長問題であるが一部有力者は此際

議長を井上前名譽助役に。荻原氏を副議長に。野崎氏を名譽助役に――と云ふ誠に結構な塁縄を引いて徐ろに暗躍を始めたらしいが、根が市制の例外規定である名譽助役は曾て町時代に於ても既に雞肋的存在として左右の議論が行はれ、而も六大都市以外には現在各市に於て之の實例が極めて少く結局市財政を顧みず一に人の爲に椅子を設くる授産的の計劃であるとし、天晴れ名譽助役や副議長に擬せられた野崎、荻原兩氏は毅然たる大義名分上この目の前にブラ下つた否ブラ下げられた英國製のビスケットに一瞥を與れず呵々大笑しさながら月の世界の話の樣に聽き流したとの事で、彼此この空氣から觀測すると新市會當面の問題であり、今後事毎に之が支配役に据えらるる正副議長の入選は、其の決定を見る迄には相當の曲折あるは豫め賭易き道理であり、延いて參事會員の選擧にも種々なる形式によつて頗る錯綜した相關干繋を反映するものと看て取られるなど世にも興味深い平市會を中心とする野望萬華鏡の旋回ではある

當選承諾纏まる

各派の動向を觀た上 初市會は適當な時期に

戰勝に輝く平市會議員當選者三十名は市長から當選の告示を受けたる日から五日以内に辭任を申立つるもの無く昨十四日を以て全部の當選承諾書が纏つたので當選者中に二十日間の承諾期日を有する官吏が無かつた今回の選擧は之れで全部の決定を見たわけで、當面の問題は正副議長決定の初顏合せ市會であるが右に就ては市制施行令第一條により歲入、歲出豫算が市會の議決を經て成立する迄の收支運營に就き知事の許可を受けてゐるので差當り實際上の事務處理に別段の支障も無いので、飽迄平和を理想とする青沼市長代理の方寸から市議各派に於ける動向が大体決つた上に行はるるものと觀測さる

案外に無關心な 土地賃貸價格調査委員選擧

中四日の目睫に迫る

他の郡下三十二ヶ町村に於ける各一名と異り特例を以て三人の定數を擧ぐる平市の土地賃貸價格調査委員選擧は除す處僅かに中四日の目睫に迫つたに拘らず一般には極めて無關心の態で果して何人を推すかは今の處殆ど豫想つかぬ狀態であるが土地名寄帳に登錄された新市域内の有權者は千六、七百名で有夫の婦を除く成年の女性も交る之等の有權者は二十日午前九時から午後三時迄市會議事堂（投票分會等を設けず）の選擧會場に至り投票する事になつてゐる

。。。。女青修養會　平女子青年團の月並修養會は十五日午後二時から第二校に開き千

葉園長歸演

南町區民の園遊會

十八日新舞子で

市内南町青年團主催の區民合同園遊會は恒例によつて十八日新舞子海岸で催され地曳、運だめし福引、運動競技等の餘興に樂しい一日を送ると云ふ

桑園補助金

平管内割當決る

蠶業取締平支所管内の桑園整理改植補助金割當て額左の如く決定

町村名	整理金額（圓）	改植金額（圓）
泉	六〇〇	九〇〇
渡邊	八、〇〇	三、〇〇
植田	一六、〇〇	二四、〇〇
山田	三〇、〇〇	四三、五〇
錦	一八、〇〇	二五、〇〇
勿來	九、〇〇	一三、五〇
上遠野	二六、〇〇	三七、五〇
入遠野	二八、〇〇	四一、〇〇
川部	一六、〇〇	二四、〇〇
田人 荷路夫 貝泊 石住	三、〇〇	三、三〇
飯野	三、〇〇	四、五〇
夏井	一一、〇〇	一六、五〇
高久	九、〇〇	一三、五〇
豊間	二、〇〇	三、〇〇
鹿島	二、〇〇	三、〇〇
玉川	一、〇〇	一、五〇
磐崎	五、〇〇	七、五〇
内郷	三、〇〇	四、五〇
好間	八、〇〇	一二、〇〇
赤井	一九、〇〇	二七、〇〇
永戸 箕輪	五二、〇〇	七六、五〇
澤渡 三阪	一五二、〇〇	二二八、〇〇
神谷	九、〇〇	一〇、五〇
飯野	三〇、〇〇	四三、五〇
大浦	二五、〇〇	三六、〇〇
四倉	八、〇〇	一二、〇〇
大野	二三、〇〇	三一、五〇
上小川 下小川	二七、〇〇	四〇、五〇
川前	一三七、〇〇	一九〇、五〇
平	三、〇〇	一六、五〇

新煙草『ゴール』

各小賣店に配給

さきに新煙草『光』を賣り出した水戸地方專賣局平出張所で二、三日前今度は『ゴール』(GOAL)と云ふ珍らしいのを平、湯本、四倉小名濱等に約三千個配給した

これは水戸附近で產する國產米葉を用ひて製造したもの、綠色の表装で十本入れ十錢である

味は『光』に近い輕いもので各小賣店に三十個乃至四十個配られた

磐陽野球大會

十八日金坂球場で

東朝平通信部の磐陽野球戰は磐中球場で擧行する筈であつたが都合で十八日磐炭金坂球場に變更された

平鐵野球後援會生る

平驛では野球班の激勵を圖るため今回平鐵野球部後援會を組織、會長に山崎驛長を推して『吾等の選手』の聲援に努める

橋本投手の殊勳 平商に凱歌揚る

きのふ對磐中戰

磐中對平商の野球戰は十四日午後三時から磐中球場で態、水竹、佐藤三氏審判、平商先攻で開始、平商橋本投手の考練な投球功を奏して20―8で平商軍に凱歌揚る

										計
磐	2	0	0	0	0	3	1	2	0	8
商	0	1	4	5	1	1	4	4	0	20

磐中		平商	
(中)	吉田	(一)	矢吹
(捕)	水野	(三)	大塚
(三)	石橋	(投)	橋本
(遊)	矢代	(中)	森下
(投)	遠藤	(左)	間宮
(中)	鈴木	(遊)	千葉
(一)	矢野	(右)	吉田
(右)	鵜沼	(捕)	渡邊
(遊)	國井	(二)	武藤
(二)	蛭田		

ことになつた

磐女校選手推戴式

二十二日郡山安積

高女で開かれる縣下女子中等學校体育大會を目指してゐる磐女校では十五日午前九時から選手の推戴式を擧行、正選手は兩三日中發表する

。。。。體協陸上競技延期。。。。　十八日磐中グラウンドで擧行さるる筈であつた体協石城支部の陸上選手權大會は都合で今秋九月に延期

夜の公園池畔に無數の螢を放つ

來る廿四、五日に納涼大會

市内古、研町の青年から成る鳳志會では昨夏松ヶ岡公園池畔に於て納涼放螢會を催し好評を博したが今年も來る二十四、五日の兩夜に亘り前記場所に於て第二回を開催することとなり目下三阪、澤渡方部の小學校に依賴し學童の手により十數萬目標に之を集めてゐるとき因にこの機會を利用し當夜の觀衆に對し廣告團扇を配る筈であると

。。。。平商生見學。。。。　平商五年生七十餘名は十五日武川敎諭引率で市内山崎合名會社見學

。。。。赤井村初村會。。。。　十六日開き議席決定、村内三島區長を推薦決定する

平の七夕

無料休憩所＝映畫の夕 鐵道では臨時列車だ

早くもお膳立てすゝむ

五色、七いろに彩られて若竹のそよぎも淸々しい『平の七夕』は昨年邊りから仙台市のそれを凌ぐ程の絢爛たる賑かさだ！、昨年は飾りにばかり力を注いで外來客の誘致については更にお構ひなかつた憾があつたので今年は『見物客を本位に……』と關係筋では早くもその準備に取りかゝり平名物のこの『七夕祭』の宣傳に努めることゝなつた

〇

今年は來月十一日から十三日迄（舊七月七日――八日）前後三日間を通しての豪華陣だけに商工會では十三日夜マルトモホールに役員會を開いて相談した結果この三日間は驛前へ無料休憩所を設けて氷水のサーヴイスをする外市内各區には一ヶ所宛これ亦休憩所を設けて歩き疲れた見物客の便宜を圖り又當日の七日は仲町公會堂敷地で『納涼映畫の夕』を催すと云ふ

〇

一方鐵道では大賑ひの十二日には平――水戸間に『七夕列車』を運轉すべく目下當路に申請してゐる外平驛を中心に短區間の列車增絡運轉を實施、又ポスター五百枚によつて常磐、磐越兩線各驛は勿論、遠く東京方面に迄『一度見やんせ平の七夕……』の宣傳に乘り出す

頑張り泥に 五年求刑

一夜に三軒も荒しながら頑強に否認し珍らしい實地檢證に迄及んだ三犯の賊――高久村山口生れ住所不定無職吉田正元(三六)の公判は十五日午前九時から平區中島裁判長、石合檢事立會で開廷、贓品を所持しながら否認してゐるとは怪しからんと懲役五年を求刑された、言渡しは二十日

投槍

投書歡迎

。。。。貼紙と掲示板。。。。

◇現在市内に　は掲示板のある處とない處があるやうだが、私は是非一と區域に二ヶ所位あつてもよいと思つてゐる

◇近頃のやう　にソレ北支事變だ、ソレバスと急行車の衝突だと矢繼早に事件が起つて、號外の出る前に各新聞社の貼り出しが一齊に掲げられる時に於て私は一層その必要を痛感してゐる

◇よく電信柱　や家の塀などにベタ〱貼つてあるのが見受けられるがこれは街の体裁上一寸どうかと思はれる、ガムシヤラ親爺が遂に掲げる『貼紙無用』の心境も尤もの事だと思はれるからだ

◇それから時　節遲れの貼紙は速に取り去るべしだもう選擧も終つたと云ふのに未だ『〇〇候補演說會』なんて云ふ紙の色も褪つたのなどが見られるのは一寸ボけた感じがする、平も市になつてんだから少し街の体裁を考へてもよさそうなもんだ

（由良濱之助投）

北支在滿兵に對し 鐵工組合で二百圓

東朝通信部に寄託

平鐵工機械工業組合では十四日午後から臨時總會を開き北支在滿兵に對して二百圓（陸、海軍に各百圓）を贈ることを決議、これを東朝平通信部に寄託したので十五日陸海軍恤兵部に夫々發送した

尚組合では前記總會の決議に基き『時局益々重大に際し閣下の御健勝と皇軍將士の御奮闘を祈る』旨の激勵電報を首相、陸海兩省官房に送つて銃後の意氣を示した

依然二名が重態

バス衝突事件後聞

既報―バス衝突事件で重傷を負ひ市内木村病院に收容された江名町坂本春吉(三七)さん外五名は何れも元氣を恢復して退院の日を待ちこがれてゐるが一方平病院の六名中二名は遂に息を引き取り中田仙吉(五四)さん、坂本マス(八)ちやんの兩名は依然重態である、殘る坂本武雄(三七)運轉助手神田勇(二二)の兩名は完全に死線を突破したと云ふ

。。。。對抗野外演習。。。。　磐中、平商の五年生は十六日平窪方面で對抗野外演習

。。。。脅迫男に二月。。。。　色ごとを種に小娘に脅迫狀を突きつけた出齒龜――市内材木町居住宮城縣生れ生方辯次郎(四〇)は十五日平區中島裁判長から求刑通り即決で懲役二ヶ月の判決

見舞金

協會から

自動車協會石城支部では十四日午後二時から平署會議室に急施幹部會を開き遭難者二十二名に對し弔慰見舞金百圓を贈ることゝなり幹部一同が十五日遺族を見舞ふた

尚協會では今回の慘事に鑑み管内主要道路に標識塔を增設して交通禍の防止に努めることを決議した

十六日（小名濱測候所發表）
滿潮　前一〇、一五　後九、四〇
干潮　前四、〇〇　後二、三五

舊六月九日　金曜　甲辰　友引　收　鬼宿　新七月十六日

諸判定施術　東京市本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠館

▲一白　職陣に臨んで威令衆率に及び勝利を得る日▲二黑　事業に可否なく平凡に終る日病盜怪我注意▲三碧　無謀の企てなせず窮乏にも無理せぬが安全▲四綠　氣運衰退すれども悲觀を止めて定業を勵め▲五黃　失策を挽回せんとあせれば更に失策を繰返す▲六白　眞面目なれば氣運も良好にしん長するを見る▲七赤　きだうな走る車も障害物の爲めに脫線す注意▲八白　調子づかざれば計畫も徐々に伸展すべき日▲九紫　盛運なれども勢に任せば成る事もざせつあり

おでん　イッパイ　一平　電話二六三番

郷土のみやげ物は……
味よく 体裁よく 体格よく 三拍子揃つた 潮の華 一本拾錢
○尚披露の爲 七月十日より二十日まで 賣出し期間中＝二割引
◎販賣店を募集いたします。
平市五丁目 泉屋菓子店 電話六六八番

十日より十七日まで 福引大賣出し
金二圓也御買上毎に 福引券呈上（空籤なし）
景品目錄 特等―二十圓商品券 一等―銘仙反物 二等―新柄帶皮地 三等―小供仕立物 四等―御風呂敷 五等―御手富貴
御進物には三井の呉服
（かや大廉賣）
（夏掛蒲團特賣）
三井呉服店 平市 電話三八・三八四番

職員募集
一、人事係 内勤一名 外勤一名
一、廿歳ヨリ卅五歳位迄体强、思想健活動的人物ヲ求ム
一、給料卅圓以上
一、履歷書提出ノ事（特技附記ノ事）
福島縣石城郡赤井村（小川郷驛）
福島炭礦 電話西小川局呼出

土地建物 電話金融 種狸分讓
福島縣平市揺槌小路壹番地
乾產業合資會社 平 電五五五番

謹啓　老母セキ儀永々病氣の處療養相叶はず七月十五日午前〇時三十分死去仕り候間此段御通知申上候

追て葬送の儀は七月十七日午後二時自宅出棺明賢寺に於て佛式に依り相營み申候

昭和十二年七月十五日

田中ハナ
田中トキ
外親戚一同